

AA

日本ニュースレター No.77

## AA インターナショナルコンベンション 2000年 ミネアポリス

五年ごとに開催される 世界的な周年行事となった六五周年インターナショナルコンベンションの登録受付が、いよいよ九月に始まりです。五年前から計画していた方も最近になって行ってみようという気持ちになった方も、参加を決めたらまずは登録用紙を送ることからすべてが始まります。詳細な案内がアメリカから届くのは九月のはじめ頃になるのですが、その前に大体のところをつかんでいただけよう、ニューヨークのGSO発行のニュースレターに発表されたお知らせを、ここに紹介します。

参加したいのだけれど、英語で登録用紙を書いたり、飛行機の手配をするのはどうもという方にはツアーを設定しました。手続きも代行します。アメリカから案内が到着したらできるだけ早く登録の手続きをとって宿舎を確保したいと思えますので、皆様にもできるだけ早く参加決定をしていただけますようお願いいたします。JSOにご連絡頂いたら、すぐに申込用紙をお手元に送付します。関西空港出発希望者の方は関西セントラルオフィスに連絡をお願いします。

費用についてはですが、航空運賃はおおよそ十万円弱を予測しています。宿泊料についてははつきりした数字を今回はまだ出せませんことをご了承ください。

全員が集合できるビッグミーティングでは、日本語の同時通訳も予定されています。メンバー以外の方も大歓迎です。どうぞAAの友人の方々(関係者)やご家族にもお知らせください。



**それは何ですか？**：AA誕生から65周年を祝うコンベンションです。

**テーマは「21世紀に受け渡してゆくもの」**

**いつ？**：2000年6月29日～7月2日 **どこで？**：ミネソタ州ミネアポリス。会場はコンベンションセンター。ヒューバート・H・ハンフリー・メトロドーム。ヒルトンホテル、ハイフットホテル、リーガルヘッドクォーターホテル。中心地にあります。

**それはどういうもの？**：1950年オハイオ州クリーブランドで第一回が開催されて以来、AAという集まりの成長の一里塚として、ソブラエティを祝う最高の瞬間として、参加者に感動的な霊的体験を与える場となっています。AAの誕生を祝って5年ごとに開催されるインターナショナルコンベンションは世界のAAの最大のイベントへと発展しました。この目的は：

- ・参加者がAAの第一の目的を再確認する機会となる
- ・参加者が世界中のAAプログラムの成功と成長を目の当たりにすることができる
- ・AAが生き生きと、活発に、盛大に活躍しており、地域的、国際的な社会資源であることを世の中に知らせる、などです。

**誰のためのもの？**：インターナショナルコンベンションはアルコール・リクス・アノニマスに関心を寄せるすべての人たちにAAのミーティングを提供するものです。AAメンバー、アラノンメンバー、AAの友人たち、メディアやその他いろいろな専門職の人たち、またはAAの“オープンミーティング”に参加してみたいというあらゆる人たちのためのものです。

**費用**：2000年5月15日までの事前登録料は\$85で、それ以降、当日までは\$95です。このようなインターナショナルコンベンションに参加するには常に登録が必要です。

**登録**：1999年8月末か9月はじめに代議員 アメリカ/カナダのグループ と、セントラルオフィスやインターグループに登録用紙が送付されます。GSOのホームページからも登録用紙をダウンロードできます。プログラムの原案が来年の晩春には送付できる予定ですので詳細についてはそららをご覧ください。(次ページへ)

**ホテル：**登録が済むと、ネームバッジ（バッジは登録が済んだという確認です）と、ホテル予約用紙が送られます。必要事項を書き込んでできるだけ早く申し込むようにしてください。

ホテルの予約受付は1999年11月15日から開始されます。それ以前に到着した予約申し込みは、たとえ普通郵便、ファクス、Eメール等で送付されようと、11月15日まで保留され、当日抽選で手続きが開始されます。11月15日までに申し込んだ人のチャンスは全員平等です。11月15日以降は申込到着順に処理されます。



6月29日（木）

・コンベンションセンターの周囲とニコレットモールに沿って交通を遮断し、歩行者天国パーティが開かれます。ダンスをお望みなら、まず一言コンベンションセンターからどうぞ。ヤングの方、気持ちのヤングの方はヒルトンホテルとハイフットホテルでのダンスをお楽しみください。歩行者天国を歩きながら、昔の仲間を見つけ、新しい仲間と出会い、お互いを歓迎し合ってください。そして世界最大規模の歩行者天国をお楽しみください。

・英語とスペイン語の二つのマラソンミーティングは真夜中にスタートし、7月21日日曜日の午前7時15分まで続きます。

6月30日（金）

・各AAミーティングは午前9時開始です。  
・花の金曜日の夜は、メトロドームスタジアムに集合。参加国の国旗パレードでオープニングです。80ヶ国以上になるでしょう。その後は同じ会場でピックミーティングです。

7月1日（土）

・ミーティング、ミーティング、ミーティング…  
・オールドタイマーミーティングはスタジアムで午後8時。ダンスはその後午後10時30分から。

7月2日（日）

最後のお別れミーティングはスタジアムです。

国際協力献金への支援  
ありがとうございました

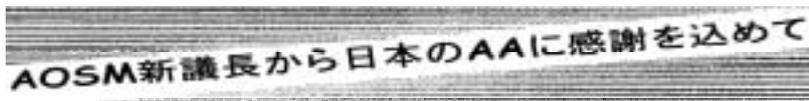
今年の国際協力献金活動は、Aのバースデー六月十日をはさむ週である六月七日（月）より六月十三日（日）までの一週間にわたり、送金の受付は六月三十日で締め切らせていただきました。現在、七十のグループと十三人の個人の方から、三十四万一千百九十九円の献金が届いています。

世界でまだ苦しんでいるアルコホーリックにAAの回復のメッセージを運ぶ、国際的な十二ステップ活動の意義をご理解くださり、たくさんの方の献金を寄せていただいたことを感謝します。経済が全国的にはかばかしくないにもかかわらず、これだけの熱意が示されたことに、私たち日本のAAの中で、「分かち合い」の精神が脈々と生き行き続けていることを感じました。

国際協力委員会ではこの貴重な献金を、趣旨に従い、主に国際出版基金とアジア・オセアニア・サービス・ミーティング事務局への献金にあてたいと思います。献金額の詳細内容につきましては、二〇〇〇年二月の評議会でご報告いたします。

締め切り後お送りいただいた献金につきましては、二〇〇〇年度に国際協力の分野での献金に加えてさせていただきます。どうも有り難うございました。

常任理事会・国際協力委員会



AA日本常任理事会へ



このたびアジア・オセアニア・サービス・ミーティングの新議長に選出を受け、早速お手紙を差し上げる次第です。おかげさまでシドニーで開催されたAOSMは大変な成功を収め、貴重な経験が分かち合われ、参加した評議員全員が、アジア・オセアニア地域にメッセージを運ぶ熱意も新たに帰国の途につくことができました。

輪番制の精神のもと、新しいAOSMセクレタリーにはオーストラリアのアン・オコーナーが選出されました。また、AOSMの運営経費についても、もっと自立的になる必要があることに議論が及び、今後はAOSMの口座を設け、参加国が継続してその口座に基金を献金していくことになりました。とはいえ、そんな簡単にこのような決断がなされたわけではありません。長年なじんできたことを積極的に変える気持ちにはなれなかったからです。けれども、AOSMの成長を確実なものにするために必要なステップだったと信じています。

今回のミーティング開催期間中も、その後も、AOSMの設立と支援に向けて果たしてきた日本のAA常任理事会の役割を参加評議員の全員が認識するに到りました。今回、そのことをお伝えするためにこの手紙を差し上げる次第です。日本のAAが大きな支援を持って支えてくださったことに、AOSMを代表して心から感謝の気持ちをお伝えします。日本の大きな支援がなかったら、おそらくAOSMは存在しなかったでしょう。そしてAOSMが作られなかったら、援助の手が差し伸べられなかったアルコホーリックはいったいどれだけの数になったのでしょうか。想像がつきません。この支援は1995年に東京で開催された第一回AOSMの主催に始まり、そ

の後山本さんの測りしれないほどの努力による事務局業務によって継続されてきました。この間、日本のAAはAOSMに対して、財政支援のみならず、それ以上のものを担っていただきました。

私たちにとっての共通の目標を達成するにあたり、日本が深く関わってくださったことを、そして見本によって他の国を導いてくださったことを感謝します。シドニーのAOSMの際のリチャードフッシュの基調講演から次の言葉を引用してペンを置きます。

「私たちは、信じる心を持って共に歩み、私たち全員を導いてくださるハイヤーパワーの恩恵によって生まれる奇跡を期待しながら、AAの第一の目的だけに焦点を合わせていく必要があります。私たちにはメッセージがあります。私たちに求められていることは、それを次の人に手渡してゆくことです」

再度、懲謝を込めて。

サイモン・ローチ、AOSM委員長



あなたの外国語のスキルを、仲間のために生かしていただけますか？ あなたのまわりに、外国語のできる仲間はいますか？ 国際協力委員会では外国語のボランティアを募集しています。

現在、経済を中心に生活のあらゆる分野で、グローバル化、ポーターレス化が急速に進み、大量のヒト、モノ、カネ、情報が国境を越えて往来しています。AAでも外国との交流、外国人メンバーとの分かち合いが以前にも増して盛んになってきました。隔年ごとのワールド・サービス・ミーティング、その間の年のアジア・オセアニア・サービス・ミーティングと、国際会議も毎年開かれています。AOSM設立以後は、ニュージーランド、オーストラリアをはじめとするその地域の国々と頼りに連絡を取り合うようになりました。

海の向こうには、長い歴史を持ち、サービスの分野でたくさんの経験を積んだAAが多くの国にあり、日本はこれらの国から学んでいくことがたくさんあります。AOSMでは、国と国とのスポンサーシップが真剣に検討されており、日本も東アジアへメッセージを運ぶことが期待されています。また現在日本には外国からきた人がたくさん住んでおられ、その中からアルコールに問題のある人もでてきます。最近、JSO、セントラルオフィスに、中国語、ポルトガル語での仲間の支援が要請されたことがありました。

そこで、国際協力委員会では、外国語サービスのボランティアを募り、国際的なサービス活動をさらに充実させていきたいと考えます。外国語のスキルをもってサービスに参加できる方に登録していただき、必要のあるときに、個別的にサービスをお願いしたいと思います。

呼びかけるサービスの内容は次の3点です。

1. 会議資料の翻訳、通訳など、ワールド・サービス・ミーティング評議員の活動への支援。

## 外国語ボランティアの募集

常任理事会・国際協力委員会

2. 日本に滞在中の外国メンバー、まだ苦しんでいる仲間への支援（英語、中国語、ハングル、ポルトガル語、スペイン語、ロシア語など）
3. 日本でのサービス活動の参考となるAA文書の翻訳。各種ワークブック、アメリオ・カナダ評議会報告書、ニューヨークGSOのニューズレター、BOX459の記事、いろんな国のいろんな地域が発行しているサービスに関するパンフレットなどを翻訳し、関心のあるメンバーが参考にできるようにする活動（文書委員会とは別の活動。出版は予定せず）

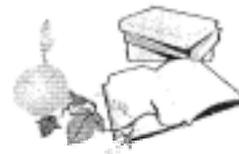
登録には次の内容で、ボランティアをしてくださる本人がご自分で、お願いします。

- 1) 名前（ニックネームでもかまいません）
  - 2) 連絡先（住所、電話番号、FAX番号、Eメールアドレスなどのひとつまたは全部）
  - 3) どの言語のどんな分野（会話、翻訳など）ができるか
  - 4) どれくらいの時間（休日のみ、平日も、週何時間くらいなど）がサービスに使えるか
- 登録は、JSO外国語ボランティア担当デスク（山本）です。登録していただく方法は電話、お手紙などご自由です。

連絡先

〒171-0014 東京都豊島区池袋 4-7-10 土屋ビル 4F  
電話 03-3590-5377 FAX03-3590-5419

なお、登録していただいても、本人の意に反するサービスをお願いすることはありません。そのつど連絡を取り、話し合いをして、ご無理のない範囲で、確実にできるサービスをお願いすることになります。どうぞよろしくご協力のほどお願いいたします。



## 評議員レポート 『AAの全体サービスを生きたものに』



個人としての私は「サービス体系」というものにあまり関心を持っていません。ワクの中で何かを“させられる”ということに根深い反発を持っているのかもしれませんが。

また『自分好みの中身で盛り沢山のサービス』というイメージに比べてあまりに貧相だと思っているのかもしれませんが。しかし、自分の中に人に何かを自発的に伝えたいという思いもあって『さてどうしたものか』となった時、各グループの代議員が定期的に集まる地区委員会は誠に便利なものでした。さらに、そう言えば、同じような経験がJSOのサービスについてもあった事を思い出しました。

ある病院にメッセージを届ける必要上、AAをまだよく知らない保健所を訪ねた事がありました。一冊のパンフレットとビックブックとJSOの電話番号と住所、それが名無しのアール中の一人である私の背景のすべてでした。アメリカの英語で書かれた本とニューヨークGSOの写真を持って行っていたら私は保健婦さんと話し始めるまでに相当の苦勞を強いられていたと思います。メッセージの必要を感じて行動を始めた時『ああ、こんなサービスがあったんだ』と気がつきました。

AAの書籍を一通り読んでしまった時、次の新刊が出るまでは、私にとってJSOは在っても無くてもよいものだったのでしょ。

今回も必要があって動き出した矢先に、地区委員会が在ったんだと解りました。

そこで何を伝えたかと言えば、7月の評議会での決議内容、財政状況、来年の評議会のテーマについて...等々も去る事ながら、やはり『全体サービスは今日もやっていますヨ』ということなのかと思います。

中には迷惑ダヨという顔の方もいるでしょうが、

関東甲信越前期評議員・東濱

だからといってこれが問題であるとも思えません。サービスは必要になった時、いつでもそこにあればこれほど便利な事はありませんし、必要もないのに押し売りのように勧められてもだれだって余りよい気持ちにはなりません。

最近、柄にもなく、一体性という事をよく考えるようになりました。

人の集まりの中に何か一体感のようなものを感じる時、その人たちは必ずと言ってよい程、何か協力してやりたいと言うものを持っていると感じます。集まってはいても、バラバラだったり、個人個人にあまり余裕を感じない時、そこでは何もやる事が無い、または、うわべだけでやっているようなフリをしているなと感じます。そして、やがて状況は一体性に向けて変化して行くだろうと少しだけ信じられます。『こんなものは、もう時間のムダだからやめよう』、『何もやる事がなければ、終わりにしよう』、と開放的に言って受け入れてもらえる集まりは素晴らしいと思いますし、きっとその後で、本当に全体で協力して『これがやりたい』という事が出てくると信じられます。

私は『AAの全体サービスについて』いささか知っているように思っていました。しかしながら『AAの全体サービス』を知らなかった。それは、地区委員会の席に飛び込んで行って、自分のために少しの時間を割り振ってもらおうのを待つ間に頭の中をかすめた事でした。

AAのサービスが生きたものであるために、私はこの先どんな必要性を感じなければならないのだろうか？ まだ感じていない必要性がたくさんある筈だ。様々な問題を分かち合ってくれた仲間



に感謝してます。



Alcoholics  
Anonymous

### AA日本ニューズレター 77

編集・発行JSO AA日本ゼネラルサービスオフィス

〒171-0014東京都豊島区池袋4-17-10 土屋ビル4F

TEL 03-3590-5377 FAX 03-3590-5419

〒100-8691東京都中央郵便局 私書箱916

郵便振込口座番号 00180-0-68876

加入者名 AA日本ゼネラルサービスオフィス

<http://www4.justnet.ne.jp/~serenity/>

\*月曜日から金曜日10:00~18:00まで業務しています。土、日、祭日は休みです。

\*今回初めてパソコンで本誌を制作してみました。いかがでしょうか